

プロジェクト報告書

特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会シオン

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

自立援助ホーム専用データベース管理プログラム作成事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

今日の児童福祉施設では、入居者の個人情報、育成記録、業務日誌や支援計画などの管理、保管を、書面ではなくPCを用いているところが増えています。北関東自立援助ホームでも、自立援助ホーム専用のDBPを利用しているホームがいくつかありました。両ホームとも、母体が社会福祉法人ですので、それだけの支払いができていますのだと思います。当ホームを含め、NPOが母体であるホームには、それだけのコストを捻出することは大変難しく、エクセルなどを利用しているのが現状かと思われます。しかし、市販のエクセル等には、安全性や利便性において課題があります。本事業では、自立援助ホーム専用のDBPを作成します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

自立援助ホーム専用のデータベース管理プログラムを作成を致しました。おかげさまで、入居者である子どもの個人情報やその日の様子、ホームの業務などを、より安全に管理することができるようになりました。

また、当該プログラムでは、締め切りのある事業や、優先順位の高い事業、まだ手の付けていない事業がポップでトップ画面に出てきます。それにより、日々の業務やスケジュールの漏れ、しなければならない事業内容がデータ内に埋もれてしまうことが少なくなると期待しています。利便性が高まることで、効率よく事務作業を行うことができ、職員の負担が減ることも期待できます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

本プログラムは、茨城県保健予防部子ども家庭課の監査に必要な書類や、茨城県生活環境部生活文化課へ提出しなければならない活動計算書等をアウトプットできるよう、工夫がされています。過去のデータを探し出し、そこから数字を抽出し、提出書類を作り出す作業が少なくなる、または無くなりますので、事務作業の大幅な軽減が見込まれます。

自立援助計画のページでは、短期及び長期援助計画が設けられています。同じ援助計画が何か月も続いているなどが、一見して分かるようになっているので、その子どもの能力に適した援助計画を立てる一助となります。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

産みの苦しみではありますが、本事業で作成した自立援助ホーム専用データベース管理プログラムは、ホーム職員の負担がとても大きかったです。業者との打ち合わせ、業者への要求(当法人が必要とする要素)、調査、分析、デザイン、試し運転など、費やした時間は延べ 150 時間を超えました。

おかげさまで、自立援助ホームの運営をほぼ全て包括できるプログラムを開発したと思っています。これも真如苑さまからの助成金のおかげであり、NPO 法人 IT 普及協議会田村理事長の協力と、システムエンジニアである倉持様の尽力のおかげと思っています。関係者さまに感謝を持ちつつ、平成 26 年度に長期的な試運転を行い、27 年度に全国の自立援助ホームに配布できればと考えています。

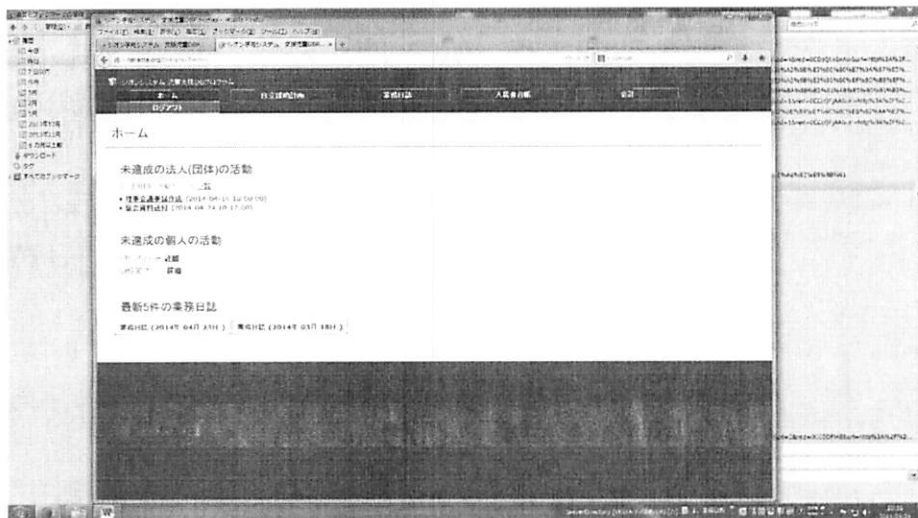
6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

自立援助ホーム専用、データベースプログラム

①ホーム



②業務日誌



③入居者台帳

